住宅用火災警報器

ダイケン火の元監視番 煙AC02タイプ

品　番　SA0250－1
光電式　外部電源方式　2種
連動型　自動試験機能付

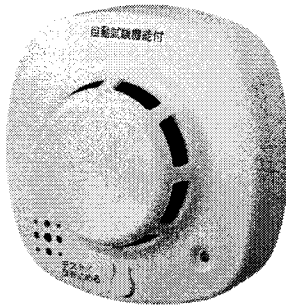
取扱説明書

保証書付

消防法令適合品
住宅性能表示制度対応品

お施主様へ必ず本説明書をお渡しください。

■特長

・火災時に発生する煙を素早くキャッチします。
・住宅火災を大きな音とランプでお知らせします。
・安心の自動試験機能付です。
・電池交換の不要なＡＣ電源方式です。
・連動機能付ですので、接続している他の警報器からの火災信号を受けると、他の警報器が働いていることをお知らせします。

●このたびは、本警報器をお買い上げいただき、ありがとうございます。
●お使いになる前に、この取扱説明書をお読みいただき、内容をよくご理解ください。
●本書（取扱説明書および保証書）は警報器取付後も大切に保管し、いつでも使用できるようにしてください。
●この警報器は、火災による煙を感知して警報を発するものです。
火災を防止する装置ではありません。火災による損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

保証書

このたびは住宅用火災警報器(火の元監視番)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
お買い上げいただきました商品につきまして、本保証書記載の内容により保証させていただきます。

商品名	住宅用火災警報器
品　番	SA0250-1
保証期間	お買い上げ日より１年間
お買い上げ日	西暦　　年　　月　　日

お客さま	ご住所 お名前 電話
販売店	住所・販売店名 電話

大建工業株式会社
本社：〒530-8210 大阪市北区堂島1丁目6番20号 堂島アバンザ22F
電話06-6452-6000
お問い合せ 内装材事業部　営業推進室　東部営業課　電話(03)3249-4876
西部営業課　電話(06)6452-6121

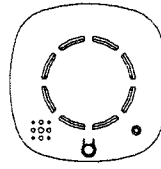
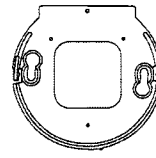
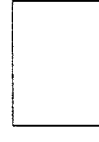
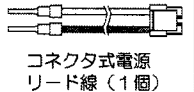
保証規定
1. 保証期間は、お買い上げ日から１年間といたします。
2. 通常のお取り扱いにおいて、保証期間内に万一故障した場合の修理は原則として無償でいたします。
3. 保証期間内においても、次のような場合の修理は有料にさせていただきます。
　・お取り扱い上の誤りにより故障または破損した場合。
　・不当な改造や修理により故障または破損した場合。
　・お引っ越しによる輸送、移動、衝撃、振動により故障または損傷した場合 。
　・保証書の紛失またはご提示のない場合。
　・保証書の所定事項に記載漏れ、または字句を書き換えられた場合。
　・取り付け場所が適当でなく、調理の熱や誤作動で電池が消耗した場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. お客さまへ
　・アフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めになった販売店へお問い合わせください。
　・本書にお買い上げ日ならびに販売店名の記載のないものは保証の対象となりませんので、ご購入時に必ずご確認ください。
　・本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
　・この保証書によって保証書を発行している者(保証履行者・保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

2-8-000-2707-151

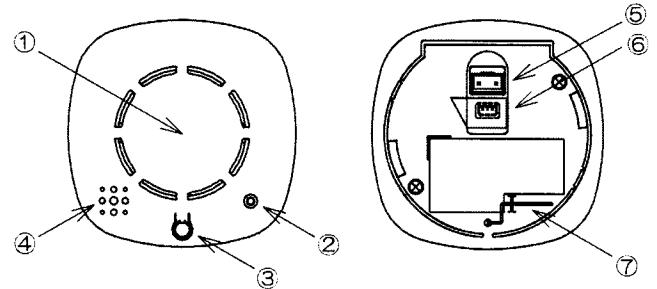
警報器をご使用になる前に

警報器を正しくお使いいただくためや、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書には絵表示をしています。
それぞれの表示と意味は以下の様になっていますので、内容をよく理解してから本文をお読みください。
■誤った設置や取り扱いによる危害や損害の程度を以下の表示で示しています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定されることを表しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
⃠	「一般的な禁止」事項を示しています。
(分解禁止記号)	「分解禁止」を示しています。
❗	「必ずおこなう」事項を示しています。

商品のご確認

警報器（１個）

取付板（１個）

取扱説明書（本書）

コネクタ式電源リード線（１個）

取付ネジ（M4）（２本）
取付ネジ（木ネジ）（２本）
コネクタ（２個）
コネクタ式移報リード線（１個）

1．各部のなまえとはたらき

①煙感知部
・ここで煙を感知します。
②動作表示灯
・火災時に点灯（フラッシュ）します。
・別の火災警報器から火災連動信号を受信すると点滅します。
・電源投入時に、７秒間点滅します。
・故障時に点滅します。
③テストボタン（警報音停止・テスト用）
・『6．使用方法 警報を止めるとき テストのしかた 』を参照してください。
④音響部（ブザー）
・ここから警報音が出ます。
⑤電源コネクタ
・ここから機器に電源を供給します。
・付属のコネクタ式電源リード線を接続し使用します。
接続方法は『4．電源線の接続方法』を参照してください。
⑥火災連動入出力コネクタ
・機器を連動する際に使用します。
・付属のコネクタ式移報リード線を接続して使用します。
接続方法は『5．火災連動入出力の接続方法』を参照してください。
⑦引きひも（警報音停止・テスト用）
・『6．使用方法 警報を止めるとき テストのしかた 』を参照してください。
・引きひもはご使用にならない場合、警報器裏面に止めておくことができます。

2. ご使用上の注意

⚠ 警告

・警報器は絶対に分解しないでください。

・警報器を落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

・正常動作を確認するために、『6. 使用方法 テストのしかた 』に従い1ヶ月に1回テストを行ってください。

⚠ 注意

・この警報器は煙を感知して作動するものです。火災の防止装置ではありません。
・警報器を取り付けた部屋の扉やふすまを閉めた場合は、他の部屋で発生した火災による煙が警報器までとどかず、警報を発しない場合があります。
・火災時の煙は上昇するため、2階で発生した火災を1階に取り付けた警報器で発見することはできません。
・警報器の前に物を置いたり取り付けたりしないでください。
警報が遅れる原因となります。
・殺虫剤（くん煙殺虫剤、加熱蒸散殺虫剤なども含む）、化粧品などのスプレーを警報器の近くで使用すると警報器が作動することがありますがしばらくすると鳴りやみます。テストボタン、引きひもの操作により警報を一時停止することもできます。
・この警報器は、消防法で定められた自動火災報知設備には該当しないため、それらの設備への使用や接続はできません。
・この警報器は、火災以外の煙（調理による煙、湯気、浴室からの湯気、たばこの煙など）により作動することがあります。
・テストボタンまたは引きひもを強く操作しないでください。(耐荷重：約3kg）過度の荷重をかけた場合、故障の原因となります。
・煙感知部に綿棒、異物等を突っ込まないようにしてください。誤作動や故障の原因となります。

3. 警報器の取り付け

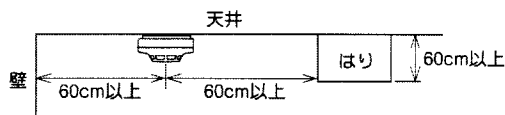
⚠ 警告

・取り付けは高所作業となり、転倒や落下などの危険があります。
足場の確保など安全に作業できるようご留意ください。
・警報器は必ず正しい位置に取り付けてください。
誤った位置に取り付けると火災による煙を正常に感知できなかったり誤作動の原因となります。
・取り付け場所に関しては、政省令で定める基準に従い市町村条例で定められます。各市町村によって取り付け場所が異なる場合がありますので、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。

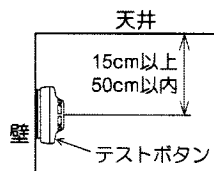
取り付け場所

1. 警報器は次の場所にお取り付けください。
・寝室、居間　・階段の天井付近　・廊下　・台所
2. 警報器の取り付け位置
・警報器のテストボタンまたは引きひもが操作しやすい位置に取り付けてください。

天井面に取り付ける場合

壁から60cm以上離した位置に取り付けてください。
また、はりから60cm以上離した位置に取り付けてください。

狭い通路などで壁から60cm以上離せない場合には中心付近に取り付けてください。

壁面に取り付ける場合

天井面下15cmから50cmまでの範囲に取り付けてください。

⚠ 注意

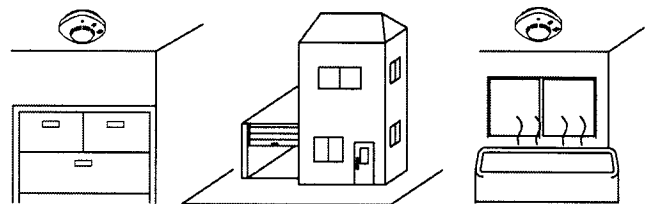
次のような場所には取り付けないでください。火災による煙を正常に感知できず、誤作動や故障の原因となります。

・エアコンなど空気の吹き出し口の近くは煙が流されて作動しなかったり、ホコリやチリが煙感知部に入り、誤作動し易くなる恐れがあります。

・照明器具の近く
（60cm以上離してください。）

・取付場所の温度が0℃を下まわる場所、または40℃を超える場所。

・たれ壁／はりの近く。
（たれ壁／はりから60cm以上離してください。）

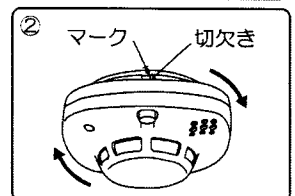
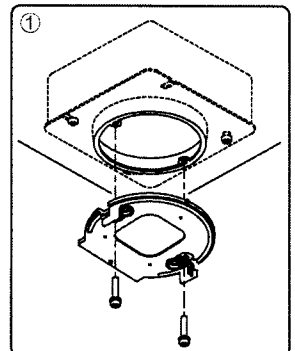
・背の高い家具の上など。
・車庫や煙のたまる場所や屋外。（屋内専用）
・浴室など水や湯気がかかり結露する場所。

取り付け方法

⚠ 注意

本警報器の取り付けには、ボックス（市販品）を使用した設置を推奨します。
（適合ボックス）
・中型四角アウトレットボックス、中型四角丸孔カバー（JIS C 8340）

①ボックスに、付属の取付ネジ（M4）2本で取付板をしっかりと固定してください。

②取付板のマークと警報器下部の切り欠きが合うように重ね、警報器が止まるまで右に回してください。
警報器を取り外す場合には、警報器が止まるまで左に回してください。

③『6. 使用方法 テストのしかた 』の項目に従いテストを行ってください。

4. 電源線の接続方法

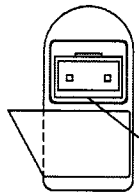
⚠ 警告

・電源（AC100V）の配線工事を行うには、電気工事士の資格が必要です。
・電源（AC100V）は専用ブレーカーから取り、必ず電源を切った状態で施工してください。感電、故障、発熱の原因となります。
・電源線にはφ1. 6またはφ2. 0の銅単線を使用してください。

①結線図に従い、付属のコネクタ式電源リード線の棒形圧着端子と電源線を付属のコネクタに差し込み接続してください。

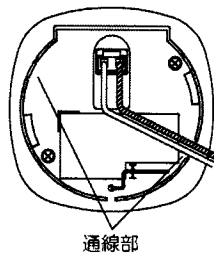
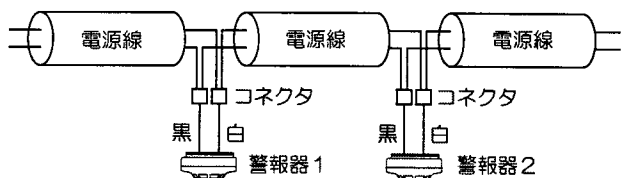
※電源線をコネクタに差し込む際、電源線の被覆を１２～１３mmむいてください。
むいた線は、曲がりが無いよう真っ直ぐに伸ばしてください。

※棒形圧着端子、電源線を差し込んだ後、電線が奥まで入っているか目視で確認してください。

②コネクタ式電源リード線を警報器の電源コネクタに接続します。

※電源投入後約７秒（動作表示灯点滅中）はテストボタン、引きひもの操作は受け付けません。

③『３．警報器の取り付け』に従い警報器を固定してください。

④『６．使用方法 テストのしかた 』の項目に従いテストを行ってください。

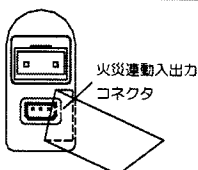
※露出配線を行う際は、右図のように警報器裏面の通線部をニッパ等で取り除き、線を通してください。

電源線結線図

５．火災連動入出力の接続方法

この警報器はいずれかの警報器が作動すると、接続した全ての警報器が一斉に警報する火災連動入出力機能を備えています。
同型の警報器を接続することにより、相互に警報音を鳴動させることができます。接続数は最大１６台です。（電池式の警報器を混在させた場合は、最大１０台になります。）

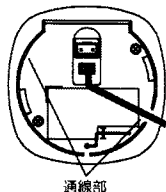
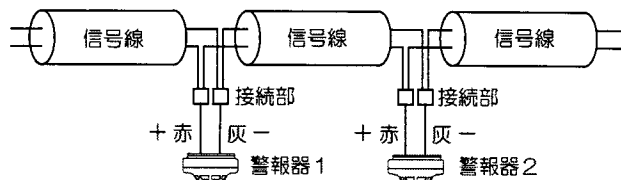
⚠ 注意

・火災連動入出力をご使用の際は、ボックスにセパレータ（市販品）を設け、通信線と電源線を離隔してください。
・火災連動入出力をご使用の際は、警報器裏側のシールを一部はがしてご使用ください。

①警報器裏面のシールをはがしてください。

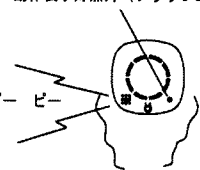
②結線図に従い、付属のコネクタ式移報リード線に他の警報器のケーブルをつなぎます。
接続する警報器の極性を確認のうえ、リード線（赤）には＋側を接続、リード線（灰）には－側を接続してください。接続部は必ずビニールテープ等で短絡保護してください。

③コネクタ式移報リード線を警報器の火災連動入出力コネクタに接続します。

④『３．警報器の取り付け』に従い、警報器を固定してください。

※露出配線を行う際は、右図のように警報器裏面の通線部をニッパ等で取り除き、線を通してください。

火災連動入出力結線図

６．使用方法（単体でご使用の場合）

火災警報音を発している場合の処置

火災の場合

・火災警報器の周囲に煙が発生すると警報器が作動します。音響部（ブザー）から火災警報音「ピー　ピー　ピー」が鳴り動作表示灯が点灯（フラッシュ）します。
・火元を確認し、１１９番へ通報するなど適切な処置をしてください。
・火災の状況に応じて避難してください。

火災でない場合

⚠ 注意

火災以外でも次のような場合、警報器が作動することがあります。室内を換気するか警報音を止めてください。警報器は取り外さないでください。

・スプレー式殺虫剤、ヘアスプレーなどが警報器に直接かかったとき。
・たばこの煙を警報器に吹きかけたとき。
・調理の煙や湯気などが警報器にかかったとき。
・くん煙式殺虫剤などの煙を発生させたとき。
・警報器の煙感知部にホコリや虫が入ったとき。

警報を止めるとき

・煙が無くなれば**火災警報音は自動的に停止**します。
また、動作表示灯は消灯します。

・テストボタンを押すか引きひもを引くと火災警報音が一時的に停止します。内部に煙が残っている場合は、動作表示灯が点滅し続け、約14分後に再び火災警報音が鳴ります。
また、火災警報音を止めた後に、一旦内部の煙が無くなると、14分以内でも煙を感知した場合、自動的に動作する状態にもどります。

テストのしかた

⚠ 警告

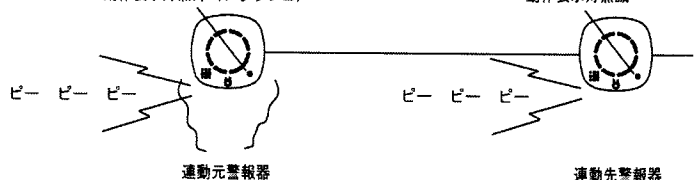
・テストは高所作業となり、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようご留意ください。
・正しくご使用いただいても、故障などで正常に動作しない場合があります。１ヶ月に１回、および１週間以上留守にされたとき、下記の要領で正常に動作するかテストを行ってください。

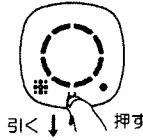
①テストボタンを「ピッ」音が鳴るまで押す。
または引きひもを引いてください。
②音響部（ブザー）から警報音「ピー　ピー　ピー」が鳴り動作表示灯が点灯（フラッシュ）すれば正常です。
③テストボタンを押しても、引きひもを引いても警報音が鳴らない場合は、『１０．故障かと思ったら』で確認してください。

７．使用方法（機器を連動させてご使用の場合）

火災警報音を発している場合の処置

火災の場合

火災を感知した警報器（連動元）が作動すると、その他の接続された警報器（連動先）が作動し、警報音「ピー　ピー　ピー」が鳴ります。
また、連動元警報器の動作表示灯は点灯（フラッシュ）し連動先警報器の動作表示灯は点滅します。

（連動警報音を止めるとき）

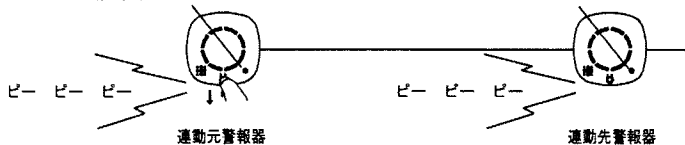
・連動元警報器のテストボタンを押すか引きひもを引くと、全ての警報器の警報音が約１４分間停止し、連動先の動作表示灯は消灯します。
・連動先警報器のテストボタンを押すか引きひもを引くと、その警報器のみの警報音が約１４分間停止します。
連動元警報器の煙感知部に煙が残っている場合は、約１４分後に再び警報音が鳴ります。

火災連動入出力機能のテスト

⚠ 警告

・テストは高所作業となり、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようご留意ください。
・動作表示灯が点滅し、音響部から故障警報音「ピッ　ピッ　ピッ」が鳴っている場合は故障をお知らせしています。お買い求めの販売店までご連絡ください。
・このテストは火災連動入出力機能のテストです。警報器のテストは個々の警報器で行う必要がありますので『６．使用方法 **テストのしかた** 』を参照して行ってください。

⚠ 注意

配線の断線、機器の故障を確認するため、１年に１回火災連動入出力のテストを行ってください。

①「ピッ」と鳴った後、「ピッピッ」と鳴るまでテストボタンを軽く押し続ける。または、引きひもを軽く引き続けてください。（約３秒間）
②全ての警報器から警報音「ピー　ピー　ピー」が鳴れば正常です。なお、操作した警報器（連動元警報器）のテストボタンを押すか引きひもを引くと、その他の警報器（連動先警報器）の警報音は停止します。
③テストボタンを押すか引きひもを引いても警報音が鳴らない場合は『１０．故障かと思ったら』で確認してください。

８．自動試験機能

この警報器は煙感知部の故障を自動的に検知し、お知らせする自動試験機能を備えています。

⚠ 注意

自動試験機能では、全ての故障は検知できません。
１ヶ月に１回のテストを行ってください。

（故障を検知したとき）

故障検知時には、動作表示灯が約１０秒に３回点滅します。
また、約５０秒おきに故障警報音「ピッ　ピッ　ピッ」が鳴ります。

（故障警報音を止めるとき）

故障警報音「ピッ　ピッ　ピッ」が鳴っている場合にテストボタンを押すか引きひもを引くと故障警報音は停止します。故障状態が継続している場合は、約１２時間後に再び故障警報音が鳴ります。

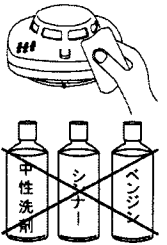
※動作表示灯の点滅は故障の状態が継続している間点滅し続けます。
※故障の際は、お買い求めの販売店までご連絡いただき新しい警報器をお買い求め下さい。

９．お手入れのしかた

煙感知部表面にホコリやくもの巣が付くと、煙を感知しにくくなります。警報器がよりよい状態で動作するように、お手入れをお願いします。

⚠ 警告

お手入れは高所作業となり、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようご留意ください。

・年に１回は布で煙感知部のホコリや、くもの巣を拭き取ってください。
・水道水等による丸洗いをしないでください。誤作動や故障の原因となります。
・表面の汚れは、水または石けん水を浸して固く絞った布で拭き取ってください。
※中性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナーは表面を傷めますので、絶対に使わないでください。

・お手入れ後は『６．使用方法 **テストのしかた** 』に従ってテストを行ってください。
・警報器の交換時期は、通常の使用状態で約10年です。
消防庁通達「消防安第16号」によりすべての住宅用火災警報器は、10年を目途に交換する必要があります。

１０．故障かと思ったら

・テストなどで故障と思われたとき、修理・サービスを依頼される前に、下表に従って確認および処置をしてください。

状態	確認	処置
火災が発生していないのに警報器が作動する。	警報器の近くに、煙（調理たばこ）や湯気が滞留していないか？	窓やドアを開け換気してください。
	くん煙式スプレー殺虫剤を使っていないか？	窓やドアを開け換気してください。
煙感知部に煙を入れても警報音が鳴動しない。	テストボタンまたは引きひもにより警報音を停止しなかったか？ 動作表示灯が点灯（フラッシュ）していないか？	しばらく（約１４分間）待ってから、もう一度煙を入れてください。
警報器が約５０秒おきに「ピッ　ピッ　ピッ」と鳴る。テストボタン、引きひもを操作しても煙を入れても警報動作しない。	－	警報器の故障が考えられます。お買い求めの販売店までご連絡いただき、新しい警報器をお買い求め下さい。
警報器の警報音が鳴りやまない。	警報器の周囲に煙が滞留していないか？	テストボタンを押すか、引きひもを引いてください。 警報音が停止しない場合は煙感知部に息を2～3回吹きかけてください。処理後も鳴りやまない場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

※上記の処置を行っても解決しない場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

１１．アフターサービス

１．保証書
保証書はこの取扱説明書に付いております。保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

２．保証期間中に修理を依頼される場合
保証期間はお買い上げ日から１年間です。
取扱説明書「１０．故障かと思ったら」に従って調べていただき、まだ異常があるときは、お買い求めになった販売店へ修理をご依頼ください。
・修理依頼される時に必要な内容
◆ご住所・お名前・電話番号・商品名・品番
お買い上げ日・異常内容

３．アフターサービスについてのお問い合わせ
保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店までお問い合わせください。

１２．廃棄する場合

一般の不燃ゴミとして廃棄できますが、廃棄方法は、各自治体の規定に従ってください。

１３．仕様

商品名	住宅用火災警報器	警報音量	７０ｄＢ／ｍ以上
品番	SA0250-1	寸法	100mm×100mm×50mm（取付板含）
定格	AC100V　10mA		
消費電力	監視時　０．５W　警報時　０．７W	質量	約１２５ｇ（取付板含）
感知方式	煙式（光電式2種）	使用温度範囲	0℃～40℃
試験機能	自動試験機能	付属品	取付板（1個）、取付ネジ（M4）（2本） 取付ネジ（木ネジ）（2本） コネクタ式電源リード線（1個） コネクタ式移報リード線（1個） コネクタ（2個）、取扱説明書（1冊）
警報音	ブザー音「ピー　ピー　ピー」		